

令和 6 年（2024 年）10 月 28 日

衆議院議員選挙（比例代表）における不在者投票の一部開票漏れについて

不在者投票の封筒から取り出した投票用紙を、あらかじめ投票箱に投函して開票所に送致して開票すべきところ、一部（525 票）の投票用紙の投函漏れがあり、それらが開票されることなく無効票となったもの。

1. 覚知日時

令和 6 年（2024 年）10 月 28 日（月）7 時 30 分ごろ

2. 発生場所

開票所 豊島体育館（豊中市服部西町 4 丁目 12 番 1 号）

3. 内容

開票に先立ち、職員が不在者投票の封筒を開封して投票用紙を投票箱に入れる作業をする際に、開封済の封筒と投票用紙を明確に仕分けて一時保管用の箱に入れるという手順が守られていない箱が 1 箱（衆議院比例代表選出議員選挙分）あり、投票用紙の上に開封済封筒を重ねて箱に入れていた。このため、投票箱に投函する職員が、当該投票用紙に気づかず、その箱には投票用紙が入っていないものと誤認し、投函されなかったもの。

【経過】

10 月 27 日（日）8 時 不在者投票の開封作業開始

同 18 時 30 分～19 時 30 分 不在者投票の投票用紙を
投票箱に投函

同 21 時 45 分 開票作業の開始

10 月 28 日（月）1 時 投票者数と票の実数が合わないことが判明
調査開始

同 7 時 30 分ごろ 投函漏れの投票用紙を発見

参考) 不在者投票の開票手順

不在者投票は、記入した投票用紙を無記名の封筒(内封筒)に入れて封をし、それを外封筒(投票者名を記載)に入れて封をして投票する。投票後の封筒は、開票作業に先立って開封し、外封筒を分け、さらに内封筒を開封して取り出した投票用紙を投票箱に入れ、その投票箱を開票所に運んで開票作業を行う。

4. 今後の対応

事務手順を見直し、再発防止に取り組む。

【選挙管理委員会委員長(坂田 慶子)コメント】

投票者のご意志を選挙結果に反映できなかったことについては大変申し訳なく思います。また、選挙への信頼を落とすことになり、重ねてお詫び申し上げます。

今回のことはしっかりと検証し、今後二度とこのようなことが起こらないよう、努めてまいります。

【問合せ】

選挙管理委員会事務局 担当：槌谷

TEL：06 - 6858 - 2477

E-Mail：senkan@city.toyonaka.osaka.jp